



白いこころ

データの向こう側

夜の検査室

輸血や細胞治療を安全に行えるよう血液を使った検査や輸血製剤の管理を行う患者さんからは見えない場所で静かに検査機器を見つめながら

この仕事はとても繊細だ

もしも異なる型の血液を輸血したら患者さんを命の危険にさらしてしまうから

「この方にこの血液は合うのか」

石橋を叩いて、慎重に、細やかに確かめていく時には一人分の検査に2時間かかることもある

それでも、仕事が嫌になったことは、一度も無い

昨夜は救急車で運ばれてきた重症の患者さんのために一晩中、何度も必死に血液を用意した

直接お顔を見る機会は少ないけれど

カルテデータの向こう側にいる患者さんが回復したことに喜びを感じ、

今日も試験管に向き合う

臨床検査技師

杉山寛貴